



森の比気

豊浦中学校学校だより

令和8年7月1日号

SNS 講話を受けて～子供たちの感想から～

先日の SNS 講話の最後に、講師の本間紘先生が豊中生の皆さんにアンケートを実施しました。本間先生からは、アンケートに真剣に取り組む姿勢が見られ、自分自身としっかり向き合っている様子が伝わってきたとのお話をいただきました。

講話を受けて考えたことや、感想の一部を紹介いたします。

ネット使用における『自立』『協働』とは？

本校の学校目標、「自立」と「協働」に照らし合わせて、ネット使用において注意すべきことを考えました。

＜自立＞

投稿や閲覧の前に「本当に大丈夫か」を自分で考え、正しく判断すること
個人情報や相手への影響を考え、責任をもって行動すること
ネットの情報をうのみにせず、根拠をもって見極めること

＜協働＞

相手の気持ちを考え、傷つけない使い方をする
友達や周囲と注意し合い、よりよい使い方を支え合うこと
悪い投稿に便乗せず、必要に応じて止めたり関わらない判断をすること

講話を通しての気づき・感想

たくさんの生徒が講話を通して、ネットの便利さと同時に危険性について実感をもって受け止めていました。

- ☆何気ない投稿や「いいね」でも、個人情報の特定やトラブルにつながる危険がある
 - ☆一度発信した情報は広く拡散し、取り返しがつかなくなる可能性がある
 - ☆加害者にも被害者にもなり得るため、軽い気持ちでの行動は避ける必要がある
 - ☆相手の気持ちを考え、誹謗中傷や悪口に関わらないことが大切
 - ☆今後は「一度立ち止まって考える」ことを意識してネットを利用したい
 - ☆困っている人を見かけたら注意する
 - ☆正しい使い方を学び続けたい
- といった前向きな意識も多く見られました。

まとめ

講話を通して生徒たちは、「自分で判断し責任をもつ力（自立）」と「他者を思いやり支え合う姿勢（協働）」が、安心・安全なネット利用に不可欠であることを学びました。

今後の生活の中で、学んだことを生かして行動していこうとする意欲が高まっています。ぜひご家庭でも、今回の学びについてお子様と共有し、ネットの使い方について話し合う機会としていただければ幸いです。